

千葉県立博物館の事業に係る自己評価票(令和3年度事業)

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値≥100%	4	A
ほぼ達成	目標値≥80%	3	B
やや不十分	目標値≥50%	2	C
不十分	目標値<50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≥75%	4
ほぼ達成	達成値≥65%	3
やや不十分	達成値≥50%	2
不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考						
			上段:達成値 下段:目標値	値の説明	数値									
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	3年度実績	14,615件	2	C	年間の登録点数。購入、寄贈、館員収集、保管換、新規寄託など。					
					前年度実績	20,827件								
			2	資料の情報化・公開実績	3年度実績	37,580点	2			A	情報システム登録点数(年間増加)			
					前年度実績	57,637点								
			3	館外貸出(外部機関等展示等)	3年度実績	15件	3					A	館外貸出(分館への貸出含む)	
					前年度実績	16件								
		4	館内利用(学術調査等)	3年度実績	204,316件	4	A	GBIF、GISでのデータ活用、研究用貸出						
				前年度実績	197,755件									
		5	著作物資料への利用(出版物掲載等)	3年度実績	73件	4			A	出版物、放送(撮影、デジタル情報の利用)の全ての件数				
				前年度実績	65件									
		調査研究	6	調査事業件数	件数	3年度実績					93件	3	A	地域研究課題+普遍研究課題
						前年度実績					94件			
7	共同調査事業件数		件数	3年度実績	17件	4	A	科研分担+他機関と共同研究の件数						
				前年度実績	17件									
8	研究成果の公開状況		論文研究報告	3年度実績	74件	4			A	学術論文・学術書の本数				
				前年度実績	71件									
大項目 I の総合評価(A~D)											B			
博物館コメント	<ul style="list-style-type: none"> ●(項目1):資料の受入点数の減少は、新型コロナ禍による継続的な影響で野外調査中止により標本採集点数が減ったため。 ●(項目4-6):資料の活用実績が良好なのは、業務自体が新型コロナ禍の影響を受けにくく、当館の資料が周知されてきたため。 													

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値				
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	3年度実績	97,033人	4	A	コロナウイルス感染拡大防止のため、準備期間をずらし、秋に開催。 ●季節展:春の展示「九十九里浜の自然誌」、収蔵資料展「ノスタルジック・ポストカード」、夏の展示「うみ鳥つぶ」、春の展示「苔松苔梅」 ●トピックス展「十二支にちなんで一寅年」
						前年度実績	53,865人			
			2	特別展(バラのすべて～All about Roses～)	入館者数	3年度実績	11,689人	4		
						前年度実績	10,564人			
			3	トピックス展等	入館者数	3年度実績	37,848人	3		
						前年度実績	41,008人			
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	3年度実績	43回	4		
						前年度実績	39回			
			5	特別展(バラのすべて～All about Roses～)	実施回数	3年度実績	1回	4		
前年度実績	1回									
6	トピックス展等	実施回数	3年度実績	23回	4					
			前年度実績	19回						
総合的な満足度	7	常設展示	アンケート満足度「非常に満足」+「満足」の割合	3年度実績	88%	4				
				前年度実績						
	8	特別展(バラのすべて～All about Roses～)	アンケート満足度「非常に満足」+「満足」の割合	3年度実績	88%	A				
9	トピックス展等	アンケート満足度「非常に満足」+「満足」の割合	3年度実績							
大項目IIの総合評価(A～D)							A			
博物館コメント		<ul style="list-style-type: none"> ●(項目1～3):R2年度は新型コロナの影響で休館が続いたが、R3年度は新型コロナ以前の入館者状況に回復しつつある。 ●(項目6):新型コロナのマイナスの影響から回復しつつある。 ●(項目8):アンケート結果によると、普段はみることができない本物の展示物(世界的に有名なバラ図譜の数々、バラが描かれた江戸時代の浮世絵、バラが描かれた20世紀初頭のアルヌーボーのガラス器など)が特に好評であった。 								
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	3年度実績	111%	4	A	達成率=実績額÷収入額
						前年度実績	103%			
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	3年度実績	29件	4		
						前年度実績	27件			
大項目IIIの総合評価(A～D)							A			
博物館コメント		<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度並みの実績をあげることができた。 参考:R3・2・1・H30年の4年間の推移(外部資金:29件、27件、27件、27件)(入場料収入達成率:111%、103%、96%、164.38%)								
IV	広報活動の積極的な展開	1	HP等の情報発信	アップ数	3年度実績	510回	2	B	R3年度(新聞・雑誌82件、テレビ・ラジオ30件) ※R2年度(新聞・雑誌22件、テレビ・ラジオ38件)	
					前年度実績	765回				
		2	HPでの利用状況	アクセス数	3年度実績	204,322件	4			
					前年度実績	109,506件				
		3	報道機関への情報発信	取材件数	3年度実績	111件	4			
					前年度実績	60件				
大項目IVの総合評価(A～D)							B			
博物館コメント		<ul style="list-style-type: none"> ●(項目2):新型コロナにより、利用者がウェブサイトからの情報を活用するようになったための、プラスの影響と思われる。 ●(項目3):新種掲載論文や共同研究による論文などを積極的に報道発表した成果による実績と思われる。 								

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明	数値				
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	3年度実績	69校	4	A	感染防止対策としてのルールを整備し、7月から受入を再開し、161件の申し込みがあったが、キャンセルが相次ぎ、実際に来たのは69校であった。
					前年度実績	5校				
			2	入館者数	3年度実績	3,577人	4			
					前年度実績	207人				
			3	生徒・児童	入館者数	3年度実績	14,939人	4		
		前年度実績			8,148人					
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	3年度実績	3校	4	特別支援学校等、特段の事情がある場合を除き、一般校への講師派遣等は、感染防止対策としてのルールを整備し、10月から再開した。		
				前年度実績	3校					
		5	利用者数	3年度実績	72人	4				
				前年度実績	55人					
地域関係団体との連携	6	団体数	3年度実績	31団体	4	R元年(86団体)、H30年(138団体)				
			前年度実績	11団体						
	7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	3年度実績	44回	4	R元年(90回)、H30年(152回)			
			前年度実績	11回						
	8	利用者数	3年度実績	33,856人	4	R3年度は勝浦市(20,400人)、道の駅-九十九里(6,630人)等を含む。R元年(3,101人)、H30年(5,302人)。				
前年度実績			245人							
9	友の会活動(サークル活動)	利用人数	3年度実績	99人	4	前年度は感染防止の観点から活動を休止とした。本年度は、感染防止対策の指針を示し、8サークル中3サークルが活動を再開した。 資料整理等、一般利用者と対面での対応を行わないボランティア活動のみを実施した。				
		前年度実績	0人							
10	ボランティア活動	活動延人数	3年度実績	337人	4					
		前年度実績	187人							
大項目Vの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	<ul style="list-style-type: none"> ●(項目1~5):最新の基準に添って感染対策をたて、順次、再開の門戸を開いたが、受益者(参加者)側に利用への慎重な姿勢が見られ、新型コロナ以前のようレベルには回復していない(V-3 備考参照)。 ●(項目9~10):R2年度は新型コロナの影響で低調であったサークル、ボランティアの活動が再開したが、上記項目同様、新型コロナ以前のレベルには回復していない。 									

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値	
VI	教育・普及活動	来館状況	1	ミュージアムトーク	参加者数	3年度実績	362人	4	A	感染防止対策としてのルールを整備し、10月から再開した。
						前年度実績	0人			
			2	講座・観覧会	参加者数	3年度実績	356人	4		
						前年度実績	65人			
			3	展示関連行事	参加者数	3年度実績	1,865人	4		
						前年度実績	75人			
			4	体験教室	参加者数	3年度実績	759人	4		
		前年度実績				610人				
		5	中央博調査隊・森の調査隊	参加者数	3年度実績	0人	/			
					前年度実績	0人				
		6	自然誌フェスタ	参加者数	3年度実績	0人	/			
					前年度実績	0人				
		7	山のフィールドミュージアム(注:館外)	参加者数	3年度実績	0人	/			
					前年度実績	0人				
		総合的な満足度	8	ミュージアムトーク	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	/	/	/	アンケートは取っていない。	
9	講座・観覧会					満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	/			/
							10			展示関連行事
11	体験イベント		満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	/	/					
				12	中央博調査隊・森の調査隊	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	/	/		
13	自然誌フェスタ		満足度「とても良かった」+「良かった」の割合				/	/		
				14	山のフィールドミュージアム(注:館外)	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	/	/		
15	相談件数(来館、メール、電話等)	利用件数	3年度実績				3,072件	4	A	昨年度に引き続き、利用者は大幅に増加した。
			前年度実績	919件						
大項目VIの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	●項目(1~7、15):規制緩和、感染防止対策の進展に伴い、実施できる事業の数、参加者共に前年度より増加したが(項目1~4、15)、未だ実施に至っていない事業(項目5~7)もある。 ●項目(3):感染防止対策の工夫として生まれた職員を介さず自立的におこなえるワークシートは、職員と対話しなくても実施できるものとして来館者の評判もよかった。また参加者にはあわせてミニ景品(バラ展時はマジックカード)も配付し、総じて評判のよいワークシートとなった。									

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考				
			上段:達成値 下段:目標値	値の説明	数値							
Ⅶ	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習	3年度実績	10人	4	A	感染対策が施せる最少人数で実施した。(前年度は空調機器の故障で休止)			
					前年度実績	0人						
			2	教員等の研修	3年度実績	26人	4			4件の研修を行った。		
					前年度実績	15人						
			3	職場体験	3年度実績	4人	4		受入体制を整備し、数件の問い合わせはあったが、先方の都合(対面への強い希望、先方におけるオンライン環境不整備等の理由)で実施には至ったのは、オンラインでの1件のみであった。			
					前年度実績	0人						
			4	インターンシップ	3年度実績	0人	/			受入体制は整えていたが、希望がなかった。		
					前年度実績	0人						
		安全管理	5	研修会の開催	実施回数	3年度実績	0回	/			A	感染対策が施せないため職員を集めての研修会、訓練は中止としたが、コロナウィルス対策等の必要な情報は、電子メール等で、適宜、全職員に周知を図った。
					館の計画	1回						
			6	防災訓練実施等	実施回数	3年度実績	1回	4				
					館の計画	1回						
大項目Ⅶの総合評価(A~D)						A						
博物館コメント	●項目(1~4):学校関連事業は、利用者側に参加への慎重な姿勢が見られたが、資格取得のために必要となる博物館実習のみは定員を上回る申し込みがあった。											
Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	3年度実績	2団体	2	B	緊急事態宣言、まん延防止等特別措置の影響が大きい。			
					前年度実績	3団体						
			2	外国人来館入込	3年度実績	38人	4			大半は県内在住者と思われる。		
					前年度実績	0人						
		大項目Ⅷの総合評価(A~D)							B			
		博物館コメント	●項目(1~2):R1年度のデータ(項目1は14団体;項目2は252人)と比較すると、感染拡大防止のために国内外の移動制限があった中では、観光資源としての利用・活用は新型コロナ以前と比べると、未だ回復には至っていない。									
Ⅸ	ICTの活用	ICTの活用	1	デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備	制作数	3年度実績	11件	4	A	デジタルミュージアム(新規3件)の他、動画(環境教育6件、バラ展2件)を作成・公開した。		
					前年度実績	6件						
			2	デジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況	視聴数	3年度実績	/	/			個別データはとっていないが、当館ウェブサイト全体のアクセス数のみの数は倍増している(項目IV-2)。	
					前年度実績	/						
			3	インターネットを活用したオンラインでの講座等の開催	開催回数	3年度実績	4回	4		館主催は4回であったが、別途、依頼を受けてオンラインでの公演会等も行った。		
					前年度実績	0回						
			4	デジタル・デバイド解消のための対策	実施回数	3年度実績	6件	4			展示活動を、ウェブサイトで発信する他、印刷物(パンフレット等)(バラ展、苔松展、うみ鳥つぐ等の展示関連)を作成した(6件)。	
					前年度実績	5件						
大項目Ⅸの総合評価(A~D)						A						
博物館コメント	●項目(1):デジタルミュージアム・シリーズの充実に加え、R3年度は講座の動画コンテンツの公開を開始した。動画コンテンツは、リアルな講座を、場所・時間にとらわれず受講できる強みがあり、利用者には好評である。 ●項目(2):当館のアクセス統計の仕様は、個別コンテンツの利用数統計は報告されず、次期情報システムの重要改善課題である。 ●項目(3):オンラインでの講座の数はR3は増加開始の年となる。											

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値 下段:目標値	値の説明	数値				
X	その他		1	職員の執務環境の整備	3年度実績	79人	4	A	対面座席間に遮蔽板を設置し、閉鎖的な執務室には、通常換気に加え送風機等を追加整備し、電話等の共用品は適宜消毒清掃を実施。 業務用出入り口を利用する全ての入館者に検温を実施した。 開館前に、出勤全職員によるアルコール/洗剤による消毒清掃を実施。 全ての入館者に、検温と入館票記入、マスク着用、手指消毒を求め、ほぼ全ての方が応じた。
					全職員	79人			
			2	出勤職員・外来者の検温	3年度実績	365日	4	A	
					全出入り者	365日			
			3	展示室の消毒清掃	3年度実績	300日	4	A	
					開館日は毎日	300日			
			4	入館者の検温等	3年度実績	300日	4	A	
					開館日は毎日	300日			
大項目Xの総合評価(A~D)						A			
博物館コメント	●利用者・職員の安全確保のため、県教育委員会の指示並びに日本博物館協会が策定した「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」に従って、感染症対策を実施した(指示やガイドラインが改正された際には、感染症対策も順次見直しを行った)。								

総合評価(A~D) [各達成度の平均]		A
総合評価と次年度への対策	●総合評価 ◇令和2年度は2度の休館があったが、令和3年度は新型コロナの影響はあるものの、休館をおこなわず博物館活動を実施できたため、どの分野においても実績数は回復しつつある。 ◇この回復のなかで、オンラインによる講座等が手探り状態であるが開催されはじめ、さらに従来にはなかった「動画」というウェブコンテンツが加わりはじめた(項目IX)。まさに、新型コロナ禍のもとで生まれてきた博物館新時代にむけてのプラスの萌芽といえる。 ◇また、令和3年度は、中央博が得意とする分野(新種記載論文等をはじめとする)のコンテンツを、より積極的に報道発表というかたちで公表するようになり、その結果として、ウェブサイトへのアクセス件数の増加や報道機関からの取材増加(項目IX)などの波及効果があったと考えられる。 ●次年度への対策 ◇令和3年度から増加しはじめた講座等の動画配信は、様々な利用者にとって利便性が高く、新型コロナ収束後も、博物館活動の大きな柱となると予想され、さらに充実させていくことが望まれる。 ◇また、積極的な報道発表などによる情報発信力の強化は、博物館への注目と利用を増加させることにつながり(項目IV2~3)、今後さらに充実させていく必要がある。	